

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 24 年 1 月 18 日～3 月 28 日

2 事業者情報

事業者名称（施設名）：長寿の森 吉祥園	種別：養護老人ホーム
代表者氏名：理事長 川上 淳 管 理 者：施設長 芳賀 陽二	開設年月日 平成 16 年 4 月 1 日
設置主体：社会福祉法人とおの松寿会 経営主体：社会福祉法人とおの松寿会	定員（利用人員） 50 名
法人所在地：遠野市松崎白岩 18-7 TEL：0198-63-1770 FAX：0198-63-1815 事業所：遠野市青笹町糠前 9-7-67 TEL：0198-62-2028 FAX：0198-62-0759	

3 総評

◇ 特に評価の高い点

○「東日本大震災」被災地支援、被災施設入居者の緊急受入れにおける組織をあげての献身的取組

法人及び吉祥園（長寿の森グループ）は、「3.11 東日本大震災」発生後、入居者と在宅サービス利用者の安全確保と施設内での一時避難生活を支えると共に、被災地出身の園長の現地活動（家族や関係者の安全確認、被災状況調査、福祉関係者とのつながりを生かした援助）を数カ月にわたって支え続けてきた。中でも、10 日余にわたる避難生活を送り、利用者、職員ともに身体的精神的に限界に達していた釜石市・養護老人ホーム五葉寮関係者の救援にあたっては、大きな役割を果たした。県社協高齢者福祉協議会の養護老人ホーム部会との連携によって、3 月 22 日（午前）吉祥園に五葉寮入居者（45 名）を受入れ、午後には内陸の養護老人ホーム 9 施設へ、5 名程度ずつ緊急受入れ（施設替え）を行うという取組みは、法人と吉祥園スタッフの組織をあげての献身なくして成し得なかったと考える。

吉祥園の平成 23 年度事業計画では、「被災高齢者を積極的に受入れ支援を行う」ことを実践目標に、被災地に心を寄せ引き続き社会的使命を果たすために取組んでいることは、高く評価されるものである。

◇ 改善が求められる点

○利用者個々の「願い」や「想い」を実現する取組について

一貫して養護イコール生活支援が重要課題であるとして取組んでいるが、個人の隠れたニーズの掘り起こしも含めて個人の意向・希望や想いの実現に関わるような具体的な取組が少ないような印象がある。

生活の安心・安定が基本になりますが、その次に気持ちや心の奥にアプローチして個々人の想いを実現し、達成感を喜び合うような取組を期待したい。

既に、何人かに取組まれているが、社会資源の活用や地域の様々な行事等への参加も大切である。そこに主体的に利用者が参加する姿が重要である。まだまだ、広がり可能性はある訳で、職員の創意工夫で、利用者個々の願いや想いが実現され、達成され、共に喜びを共有するような取組を望みたい。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

福祉サービス第三者評価は、平成 19 年度、20 年度、21 年度と 3 年連続で受審、そして 4 度目の 23 年度の受審となりました。

前回 21 年度の受審では、特に第Ⅲ領域【適切な福祉サービスの実施】の基準充足率が低く、職員が利用者に支援する仕組みやケアマネジメントに大きな課題がありました。また全領域の取り組みが不安定であり、かつ中身や内容が薄い状況でありました。

その大きな 2 つの課題を全職員で受け止め、共有し、改善できるように単年度計画の実践目標に掲げ取り組みました。その成果として課題であった第Ⅲ領域の評価が高まり、21 年度と同等の評価結果を維持することができました。

この成果を全職員で喜び、新たな課題に向け心ひとつに取り組んで行きたいと思います。評価者の皆様ありがとうございました。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)